

三重県中体連剣道専門委員会「申し合わせ事項」
(日本中学校体育連盟剣道競技申し合わせ事項に準ずる)

令和3年1月22日改正

■礼法について

- 1…団体試合の整列は審判側に先鋒から順に並ぶ。立礼の位置(9歩の間合)で礼をする。開始の礼はチームの先鋒・次鋒は剣道具を着け、竹刀を持って整列する。終りの礼は最後の試合者が剣道具を着け、竹刀を持って整列する。
- 2…正面に対する礼は最初と最後の試合のみで、最初(第1試合)は、まず正面に礼を行い、次に互いの礼をする。なお、決勝戦については開始時と終了時に正面に礼をする。
- 3…審判合議の時、試合者は立ったまま納刀し、境界線の内側まで後退し、正座または蹲踞して待機する。
- 4…試合終了の立礼後、相手と向かい合ったまま場外に出る。
- 5…選手交代の際の余計な動作(胴突き・握手など)は禁止する。

■試合について

- 1…地区予選(郡市大会)・本大会(県総体)への参加基準について。
 - ①予選(郡市地区大会)に出場する学校・生徒は、本大会(県総体)に出場できる学校・生徒とする。したがって本大会に出場できない、または出場しない見込みのある学校・生徒は予選に参加できない。
 - ②東海・全国大会も上記と同様にする。したがって東海・全国に出場できない、または出場しない見込みのある学校・生徒は県総体に参加できない。
- 2…大会参加登録について、期限の過ぎたものについては一切受け付けない。
- 3…登録選手の変更は申込用紙の提出後は原則として認めない。また、選手が5名に満たない場合は次のように登録する。
 - ①選手が4名ときは、次鋒を欠員(空欄)にして登録。
 - ②選手が3名の時は、次鋒と副将を欠員(空欄)にして登録。
 - ③選手が3名に満たない場合は出場できない。
- 4…参加申込以降に、病気などにより出場できない選手・補員が生じた場合には、その選手・補員の登録を抹消し、選手は補員から補充をし、補員は新たに補員の補充をすることができる。オーダー順の変更はできない。(この場合には診断書を本部に提出し、監督会議で許可を得ること。)
- 5…補員からの選手補充の場合、監督は本部に「選手変更願い」を提出し、各試合場へ届け出る。但し、再出場はできない。
- 6…オーダーの変更は認めない。違反した場合は、その選手を反則負けとする。団体戦にオーダーの間違いで出場した場合、反則負けとし、以後の試合について違反選手は出場できない。但し、違反選手のオーダーの補員からの補充はできる。
- 7…個人試合の対戦相手の間違いは、やり直しをする。
- 8…試合開始は最初の試合者が立礼の位置に立ったとき、審判長が笛などで合図する。試合者は開始線で蹲踞し、主審の「始め」の宣告後、立ち上がって試合を開始する。開始線は中心より双方に140cmとする。
- 9…監督については該当校の教職員とする。
- 10…選手・監督のサイン、声援は禁止する。応援は拍手のみとする。
- 11…団体戦では、先鋒・大将戦は監督・選手とも選手席に正座して観戦する。個人戦においての監督も同じとする。
- 12…突き及び片手打ちは有効としない。故意に突っかけるような突きは反則とすることがある。
- 13…上段の構えは原則としてとらせない。但し身体上の理由があるときはその都度協議する。二刀は認めない。
- 14…公正を害する行為として「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合は、1回目は合議の上、「指導」、2回目以降は「合議」の上、「反則」とする。

■用具について

- 1…竹刀は長さが男女とも114cm(約3尺7寸)以内、重さは男子が440g以上、女子は400g以上とする。竹刀の先皮の長さは50mm以上とし、安全のため竹刀の先端部最小直径が、男子25mm以上、女子24mm以上、ちくとう最小直径を男子20mm以上、女子19mm以上とする。検査に合格し検印のあるものを使用する。また、柄革は、滑り止めや模様等がない無地のもので白色とする。
- 2…不正竹刀を使用した場合、不正竹刀使用者は負けとし相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。(発見された者は、その後の試合を継続することができない。)不正竹刀使用者の団体戦のオーダーの補充はできる。(リーグ戦時は補充できない。)※不正竹刀とは下記の物をさす。
 - ①検印のない竹刀(男子は男子用の検印、女子は女子用の検印が施してあること。)
 - ②ビニール・セロハンテープを巻いた竹刀。
 - ③異物を入れた竹刀。
- 3…鐙については革色、茶色(白色も可)のものを使用する。大きさは直径9cm以下とし竹刀に固定する。それ以外の鐙を使用している場合は、その場で鐙を取り替えさせる。
- 4…弦の色は規定しない。(黄色や白色にするように努力していく。)
- 5…柄は無地で滑り止めのないものとする。それ以外の柄を使用している場合はその場で竹刀を取り替えさせる。
- 6…アイガード、ポリカーボネット面の使用は認める。黒い面金は認めない。
- 7…面紐は結び目より40cm以内。小手紐は長くたれ下げないできちんと結ぶ。面紐の色については、赤・ピンクは認められない。
- 8…面は通常の配色のもの意外は認めない。面乳革については黒色・紺色のものに限る。(但し白防具に限り白色の面乳革も認める。)
- 9…道場名の入った稽古着・袴での試合出場はできない。また、稽古着・袴への校名、校章等の刺繍は、大きさ、色を含めて華美にならないよう配慮する。
- 10…名札(ゼッケン)は黒または紺地に白字の名札とし、学校名(〇〇中)・氏名(同姓の選手がいる場合は頭文字を書く)を明記したものを着用する。あるいはそれに代わる(白地に黒ペンで書いた応急的な)名札を着用する。規定の名札を着用していない選手は出場できない。
- 11…試合者の目印(タスキ)については、幅5cm、長さ70cmのものを紅白5本ずつ各学校で用意し使用する。
- 12…サポーターなど(足袋・テーピング・コルセットを含む)の使用については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合は、予め審判主任に申し出て許可を得なければならない。但し、肘や膝などにつけるサポーターやゴム底および革底の足袋は使用できない。発見した場合は取り外させる。指先単独でのテーピングは届け出不要とする。
- 13…競技場内へのストップウォッチ、ビデオなどの電子機器の持ち込み、及び時間を計る行為は禁ずる。(監督は腕時計を身につけない。)
- 14…会場内(競技場・観客席)への応援旗・激励旗の持ち込みは禁止する。